

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【公民】【政治経済】	3年	2単位	教科書	詳述政治・経済	副教材等	演習ノート	履修対象・ 使用教室 等	特進	
教科・ 科目の 目標	(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛りとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能) (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。(思考・判断・表現) (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。(主体的に学習に取り組む態度)									
評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛りとなる概念や理論などについて理解している。 諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明している。 身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力が養われている。			よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度が養われている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めている。					
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。									
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	6回(内容は下記参照)				60	25			
	小テスト	単元終了ごと				20				
	ポートフォリオ	単元終了ごと					25	40		
	授業参加	毎時間				10	25	30		
	その他提出物	都度				10	25	30		
	【観点別配分%】				(3観点の比重を%で示しています)					
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標(到達点) など				主な評価資料	評価の重み付け【◎○】		
4 5	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治	14	・基本的な人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせること。				単元テスト 小テスト ポートフォリオ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
6 7	第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ	16	・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。				単元テスト 小テスト ポートフォリオ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
8 9	第3章 現代経済と福祉の向上 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治	14	・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせること。 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む。)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。				単元テスト 小テスト ポートフォリオ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
10 11	第2章 現代の国際経済	13	・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。				単元テスト 小テスト ポートフォリオ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
12 1	第3章 国際社会の諸課題の探究	13	・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得させる。 ・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめさせる。				単元テスト 小テスト ポートフォリオ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
学習の アドバイス	授業への参加、家庭学習で復習、提出物を大切にしてください。									